

会 議 録

会議の名称	浦幌町模範牧場指定管理者選定委員会	
事務局 (担当部署)	まちづくり政策課まちづくり推進係	
開催日時	平成30年12月11日(火) 13時30分～15時15分	
開催場所	役場3階大会議室	
出席者	委員：鈴木委員長、後條委員、伊藤委員、山田委員、高木委員、 菊地委員、泉委員、獅子原委員、山本委員、鈴木委員 説明員：岡崎産業課長、坂下産業課参事 事務局：川上まちづくり推進係長、部田主事	
欠席者	なし	
	会議次第	会議結果
1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 (1) 選定基準審査表の非開示について (2) 現指定管理者の実績等について (3) 浦幌町模範牧場指定管理者募集要項等について 4 その他		承認 報告・説明 承認

審 議 の 概 要	
別紙のとおり	
会議録の公開期日	平成32年3月31日まで

審 議 の 概 要

■開 会

○事務局：ただ今から、浦幌町模範牧場に係る指定管理者選定委員会を開催いたします。本日は第1回目となりますので、略儀ながら、会議の開催に先立ちまして各選定委員の皆さまに机上配布にて委嘱状を交付いたします。

■委員長あいさつ

○委員長：皆さんには、大変お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日は浦幌町模範牧場の指定管理に関わる選定ということについての第1回選定委員会となりますが、議題にあります通り、選定基準審査表の非開示から3項目目の模範牧場指定管理者募集要項等についてまでの大きく3点の議題がございます。来年4月以降の指定管理に関わりまして、選定委員会で協議していただいたことに基づいて、募集要項等を定め、募集を図っていくという段取りになっていきますので委員の皆様には忌憚の無いご意見を賜りたくお願い申し上げて、開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

■議題（1）選定基準審査表の非開示について

○事務局：(資料に基づき説明)

○委員：(質疑等なし)

○委員長：それでは、本委員会で作成される各委員の選定基準審査表については、非開示文書として決定させていただきます。

■議題（2）指定管理者の実績について

○説明員：(資料に基づき説明)

○委員：資料1について、指定管理業務の支出の消費税の欄で、平成26年度の実績のところには数字が入っているのに、それ以降の実績のところは0になっているのはなぜですか。

○説明員：こちらの横に町の上限額が書いておりまして、算定上はかかる経費と一般管理の経費をかけて、消費税という形で算定しております。本来は26年度の形なのですが、27年度から経理担当者が代わりまして、会社としては、課税事業者なので申告を出しているのですが、他の業務も行っているということで、ここの部分だけそれぞれに収入と支出の中に消費税を加算した形で行っており、指定管理業務に関してはこうした表記をさせていただいて、整理をさせていただいております。

○委員：原材料費の実績のところはずっと0円となっていますが、原材料費とは何ですか。町の上限額と応募時提案額には数字が入っていますが、実績が0円なので必要があるのかなと思います。

○説明員：原材料費、主に牧場ですと牧草の種子といったものがこれに当たると認識しております。確認したところ、この間には実績が無かったと聞いております。30年度につきましては、若干の額で計上があると聞いております。平成26年から実際に民間の

経理を行っている方が経理を行うことになったのですが、その仕分けで、私どもが原材料費と見ているものが、会社側では消耗品の中に含めて仕分けをしていて、実際に私どもが算定しているところがどこにはまるかということが若干違ってきています。その差異が出てしまっているので、トータルで見ていると考えていただければと思います。

○委員：平成29年度のところで、台風の影響で飼料費などの計上金額が増えて、最後の収支がマイナス900万円ほどになっているのですが、これについての補填などは無いのですか。

○説明員：指定管理者の制度は、5年間の中でのリスクを分担し、特殊な事態があれば、その時協議してという形ですが、この4年間の中で収支があるということと、リスクにおける特殊事態ではないという部分も有り、そこについては補填はせず、実際はもう1年間、30年度までが指定期間となるので、30年度においては、29年度に突出した部分については回収できているということで、29年度に関しては、一切補填はしていません。

○委員：企業の経営能力として、充分担保能力があるという解釈でよろしいですか。

○説明員：はい。26年度からの収支を見ていただくとプラスの年もありますし、ものによっては、私どもが積算した金額よりも収まっている部分もあって、トータルで見るとお互いのリスクを考えて、その中の許容範囲と考えております。

○委員長：他にご質問、ご意見等はございませんか。

○委員：(質疑等なし)

○委員長：なければ、次の議題に進みます。

■議題(3) 浦幌町模範牧場指定管理者募集要項等について

○説明員：(資料に基づき説明)

○委員：資料1の平成29年のところで、指定管理料の町の上限額が5,606,000円、実績が5,898,000円となっているのはどうしてですか。

○説明員：平成26年から27年になる時に電気料金が大幅に値上げされ、その分について協定をしておいて、それ相当分を560万円に上乗せした形になります。上限額と提案額は申請の時の数字をそのまま使っていますので、現実的には差額分については電気料金を上乗せした形となります。

○委員：来年度から冬期間の頭数を制限したいということでしたが、大体どのくらいの頭数を減らす考えですか。

○説明員：実績ですと、一日あたり700頭前後あるということですが、施設を建て替える時には、町内の牛のみで650頭と積算させていただいております。

○委員：冬場の頭数が減るということで、燃料費や水道光熱費405万円とか320万円とみているのは大体その中で納まるということですか。

○説明員：実際に頭数の減少も勘案して、算定したものと考えております。

○委員：前回応募者が何社だったのか教えてください。

- 説明員：前回の応募者についてですが、今回で2期目になるのですが元々専門性がある施設だということで、役場の元職員が会社を立ち上げて、1期目と2期目については公募の無い指定管理ということで、こちらから指名しております。今回は公募という形をとりますので、十勝管内の法人となり、前回とは公募の方法が変わります。
- 委員：仕様書の7ページ、(5)用途廃止した旧施設の保全について、管理施設と管理物品にかなり古いものがあると思うのですが、固定資産の更新は計画的にされているのですか。
- 説明員：7ページの(5)につきましては、一旦整備が終わって、撤去できず残ったものです。管理は町の責任で行わなければならないものなので、保全監督をお願いしたいと考えています。今後の整備につきましては、今回のまちづくり計画が平成31年までなのですが、その中では一旦終了した形になるので、今後32年からまちづくり計画の中で、このような体制が良いのか検討した中で整備を計画していきたいと思いますが、現時点では白紙の状態です。
- 委員：3番の畜舎の鉄骨、ほしブロックは十勝太の事務所のサイロのすぐそばにある施設のことをいうのですか。
- 説明員：おっしゃるとおり、元々あったサイロに併設して、新しく昆布刈石の方に建て直したので、あそこの部分は使わないということになりました。
- 委員：実際は、未だに、飼料を給餌する時にあそこを利用しなければ無理だと思います。施設更新の予定は無いということですが、現状でも650頭を飼養管理するには、用途廃止している施設の一部を使っており、今の施設で650頭管理するのは、利用者としても難しいので、施設の整備というのは喫緊の課題と思っています。
- 説明員：指定管理とは別で、現状の話なので、これから指定管理者と話をしていきたいと思います。
- 委員長：他にご質問、ご意見等はございませんか。それでは議題(3)については、承認とさせていただきます。

■その他

- 事務局：次回の選定委員会は、1月下旬の開催を予定しております。日程の詳細が決まりましたら別途ご案内しますので、ご出席くださいますようお願いいたします。また、応募者から提案のあった事業計画書などは、選定委員会前に事前送付いたします。事務局からは以上です。

■閉会

- 委員長：本日の議題については全てご審議いただきましたので、これを持って選定委員会を閉めさせていただきたいと思います。委員の皆さまにおかれましては、ご多忙の中、また長時間にわたりご審議いただきまして、誠にありがとうございました。以上をもちまして、第1回指定管理者選定委員会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。